

殺虫殺菌剤

ダントツ®オリゼメート® 10箱粒剤

クロチアニジン..... 1.5%
プロベナゾール..... 10.0%

種類名/クロチアニジン・プロベナゾール粒剤
農林水産省登録/第21226号(住友化学登録)
毒性/普通物*
有効年限/5年
包装/1kg×12

特 長

- 害虫といもち病の同時防除ができる育苗苗箱専用殺虫殺菌剤です。
- ダントツは初期害虫のイネミズゾウムシからウンカ類まで高い防除効果を示します。
- オリゼメートは植物の病害抵抗性を誘導して高い防除効果を発揮する抵抗性誘導剤で、いもち病菌の稲体への侵入を強く抑制します。

適用病害虫と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 イネミズゾウムシ ツマグロヨコバイ ウンカ類 イネドロオウムシ ニカメイチュウ	育苗箱 [30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ] 1箱当り 50g 高密度に は種する場合は 1kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50～100g	移植3日前 ～移植当日	本剤 1回 クロチアニジン剤 4回 [移植時までの処理は1回、 本田での散布、空中散布、 無人航空機散布は合計3回] プロベナゾール剤 2回 [移植時までの処理は1回]	育苗箱の苗の上から 均一に散布する

上手な使い方

(使用時期：移植3日前～当日)

- ① 1箱当たり50gを均一に散布してください。
- ② 苗に付着した粒剤を払い落としてください。
- ③ 軽く散水して粒剤を培土表面に定着させてください。



使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 育苗箱の苗の上から所定薬量を均一に散布し、莖葉に付着した薬剤は払い落とし、そのまま田植機にかけて移植してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾糞として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 処理苗を本田に移植したのちは、そのまま湛水状態(湛水深3～5cm)を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないように水管理に注意してください。

- 砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田では使用をさけてください。
- 移植後、低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合には使用をさけてください。
- 軽度の初期生育遅延や葉の黄化が認められることがあります、その後回復するので通常の管理を維持してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬害

- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので、必ず健苗に使用してください。
- 処理苗移植の本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいないに行い、移植後田面が露出したりしないように注意してください。
- 誤って過剰に使用したり、本剤使用後4日以上移植せずに育苗箱中におくと葉枯れなどの薬害を生じることもあるので、所定の使用量、使用時期、使用方法を厳守してください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。

■安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。



- 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。

- 作業時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯してください。



- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。

- 夏期高温時の使用をさけてください。

■貯蔵上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2024年7月25日現在の登録内容に基づいています。